

# 投槍具をつくろう！

投槍具って？



狩をするための「槍を遠くに飛ばす道具」です。木製または竹製の物は、オーストラリアやミクロネシア原住民によって使われ、エスキモーや北アメリカインディアンは漁獲用に使用。エスキモーは小舟に乗って片手で使うためやや小型です



《使用目的は2つ》

腕の力を槍に集めることができる

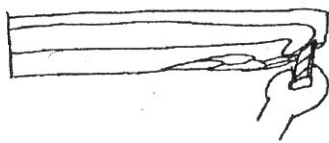
的をねらうときに距離が離れていてもねらえる



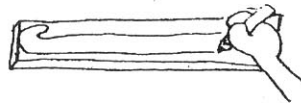
《材料》 木・カッターナイフ・紙やすり

【作り方】

①木に槍の形をかく



②カッターでけずる



③紙やすりで仕上げる

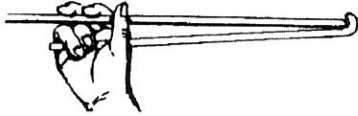


ポイント

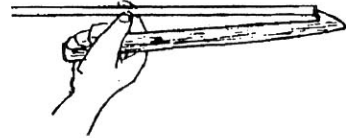
槍がうまく引っかかるように  
確かめながらけずろう！

# 【投げ方】

人に向けて投げないでね！

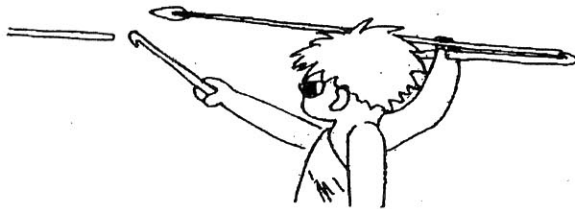


親指・人差し指・中指で槍を支える（固定）



槍に投槍具をうまくひっかける

的をねらってまっすぐ振りぬく

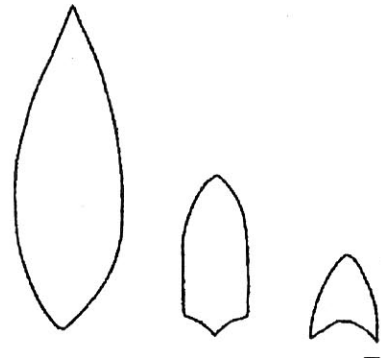


遠心力が増すことによって素手で投げたときよりも遠くへ速く投げられる。

## 「槍のお話」

日本では残念ながら投槍具は見つかっていませんが、投槍具とセットで使う槍先として使われていたのではないかという大きな石器は見つかっています。しかし時代が過ぎるにつれて機能的にもすぐれた弓矢に変わってしまいます。

尖頭器と石ソクの重さ（平均g）



木葉型尖頭器 36.3

有基尖頭器 5.1

石ソク 0.8

